

常葉大学附属 橘高等学校 古代体験授業レポート

静岡県埋蔵文化財センター

平成29年5月9日(火)



本当の勾玉は、翡翠(ヒスイ)や瑪瑙(メノウ)、水晶といった硬い石を加工して作られていますが、今回はやわらかくて加工しやすい滑石(カサヤ)を金属や紙のやすりを使って形を整えて作りました。縄文時代から見られる「あの不思議な形の勾玉」、そのいわれや発掘の様子についての解説を聞いた後、いよいよ勾玉作りに取り組みました。

勾玉作り体験



最初は戸惑いもありましたが、取り組みはじめると次第にのめりこみ、勾玉作りに没頭する人も現れはじめました。1時間という短い体験時間でしたが、完成までにこぎつけ、首から提げてセンターを後にする様子も見られました。

展示室見学

5月9日(火)常葉大学附属橘高等学校2年生のみなさんが来所し、展示室の見学と勾玉作りに挑戦しました。展示室では教科書でしか見たことのない石器や土器、銅鐸などを実際に目にして感動する姿も見かけられました。

